

15歳のお母さんに 世界の見方を 教わった。



公平な世界は、実現するの？
加藤先生、教えてください。

絶対的な不平等とは、どんなものなのか。
その現実を肌身で感じるために、
私は開発経済学を学ぶ学生たちと毎年
発展途上国でフィールドワークを行っています。
ある時、私たちは現地で、2人の赤ちゃんの母である
15歳のストリートチルドレンに出会いました。
家もなく、教育も受けられず、未来も見えない。
彼女たちの人生を野球にたとえるなら、
バットを持たずに打席に立たされるようなもの。
勝てる人しか勝てない現実で生きているわけです。
学生は、そんな絶対的な不平等を目の当たりにし、
ただ打ちのめされていました。
でも、このような経験をした学生は、
世界へのまなざしを変え、自らの行動を変えていきます。
それは公平な世界を実現するための
第一歩になるはず。
経験こそが、良き社会への道しるべとなります。

経済学科
教授 加藤 巖



和光3分大学

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学